

医学部同窓会便り

和歌山県立医科大学創立70周年記念事業に同窓会は全面的に協力することが決定しました。

平成26年度第3回理事会開催



創立七十周年記念事業に関して同窓会が大学に全面的に協力すべく一丸となって取り組むことが、先の理事会で決まり、同窓会内実行委員会を組織し、総務委員会・会計委員会・会場委員会の三つの委員会を立ち上げました。具体的には創立七十周年記念祝賀会を主として担当します。

和歌山県立医科大学生涯研修センター研修室にて、4月16日午後3時30分より坂口雅宏副会長の開会宣言によって平成26年度第3回理事会が開催された。物故会員に黙とうを捧げた後に報告事項、宇野英明会長挨拶に続き、協議事項が協議された。最初にフォーラムについて今回フォーラムの主管教室、泌尿器科教室教授の原勲先生より概要が説明され承認された。



宇野会長より「第1回70周年記念行事実行委員会には私と宮下副会長、坂口副会長、吉村理事、森顧問に出席していただき同窓会内の記念事業実行委員会を組織し、統括責任者 宇野英明会長、実行委員長に宮下和久副会長、副委員長に坂口雅宏副会長。また3つの委員会を組織し総務委員会委員長に宮下和久副会長、会計委員会委員長に吉村利規理事、会場委員会委員長に坂口雅宏副会長にお願いし、同窓会役員全員参加の考えのもと、理事・支部長・評議員の先生方全員にいずれかの委員会に参画していただくことが決まりました。」



宮下 和久実行委員長挨拶

「同窓会の役員会で協議を経て各委員会の委員にリストアップした。組織の原型は平成7年に開催された50周年記念祝賀会にならって3つの委員会を組織した。」ことが報告され、総務委員会は「会計委員会と協力して寄付を募るのがメインであり、実施事業として式典・祝賀会案内

(ゆうちょ銀行振込用紙同封) 式典・祝賀会出席者名簿作成、式典祝賀会次第の決定、招待者、乾杯、スピーチ依頼など式典の準備全般にわたって活動する。総務委員会に限らず今回のコンセプトは理事だけでなく支部・学年評議員の役員オール体制で3つの委員会に割振りさせていただきました。記念事業を成功させるためにもご協力をお願いしたい。」



第15回和歌山県地域医療フォーラム
日時：平成27年10月3日
(土) 午後2時～
場所：和歌山県立医科大学講堂



吉村 利規会計委員長挨拶

「実施事業としては協力金の管理、祝賀会予算の作成、領収書の作成、協力者名簿、未納者のリストアップ、督促、支払業務等。領収書に関しては、振替用紙に寄付金、祝賀会参加費と合わせて納入していただく形にしており、領収書を発行する必要はない。出欠者の名簿としても使える。祝賀会の出席者は500人～600人を予定しており、記念品もお渡しするというので1万5千円に実行委員会で決定した。実際に事務が始まったら手分けをして確認作業のお願いをしたい。」



坂口 雅宏会場委員長挨拶

「先程から宇野会長からもお話があったように祝賀会は同窓会が主幹して開催することが実行委員会で決まっております。皆様方のご協力よろしく申し上げます。副委員長には現役の大学教授であられる上野雅巳先生にお願いし、顧問に50周年を経験された森庸亮先生にお願いし、ご助言を頂きたいと思っています。委員として70数名の先生方にお願いすることになります。記念式典・講演会に続いて祝賀会となりますので、お祝いの雰囲気や式典・講演会から引き続いて多くの皆様方に祝賀会に参加していただけて盛り上げて頂きたいと思っておりますのでご協力よろしく申し上げます。」



羽野卓三記念誌編集委員長より「記念誌のタイトルは、『公立大学法人和歌山県立医科大学70年の歩み』というので岡村学長より指示があった」と報告され、「『40年の歩み』と同様に通史、部門史に分け、A4サイズで500頁位と考えていますがもう少し増えるかもしれません。原稿につきましては本年3月末が締め切りとなっていました、少し遅れるという先生方や教室もありますが、現在9割近くから返事が返ってきています。原稿をお願いしている先生方にはよろしくお願ひ致します。」と記念誌についての説明があった。また、宇野会長からは大学、同窓会の役割分担の説明も行われた。

宇野英明会長は、学生課外活動についても西医体で活躍した体育会系クラブだけでなく文科系クラブについても今後、学生部長と相談しながら支援することが確認された。またその他協議事項も全員異議なく承認され、宮下副会長の閉会の挨拶で終了した。



上野雅巳教授より「第29回日本医学会総会2015関西」に近畿地域12大学が参加し、和歌山県立医科大学のブースに宮下先生、宇野先生、私とで検討して大学の歴史、華岡青洲、研修医制度、本学の救命救急センターは全国270施設の内評価ランキングが第5位といったことを紹介し、地域医療支援センターの遠隔医療支援システムなどについての説明し、和歌山県立医科大学の広報活動を行ったことが報告された。



岸岡史郎同窓会誌編集委員長より「次号につきましては編集委員会が開催されていませんのでどういうふうなものにするかは議論をされていませんが、70周年記念行事を絡めたものにしたい。もうひとつはリレーメッセージで先生方の身近な話題を提供していただけたらと思います。特に理事の先生方には投稿をお願いしたい」などが報告された。

会長・副会長会並びに同窓会内実行委員会開催



理事会に先立ち4月9日午後3時30分より図書館会議室をお借りして、会長・副会長会並びに同窓会内記念事業実行委員会が開催された。実行委員会では宮下実行委員長よりタイムスケジュールが示され、スケジュールに沿って行うことで同窓会の分担である記念祝賀会を成功裡に終わらす近道であることが確認された



前副会長の有田幹雄先生のご労苦に感謝し同窓会役員を代表して宇野英明会長より花束が贈られた。

また、同窓会実行委員会に、総務委員会、会計委員会、会場委員会の3つの委員会を組織し、評議員、理事、支部長の全役員がいずれかの委員会に参画していただきオール同窓会体制で記念事業に取り組むことが再度確認された。各委員の選出は委員長に一任し前項に掲載した理事会で承認された。



4月21日（火）午後4時30分より「平成27年度和歌山県立医科大学Student Doctor正午授与式」が行われた。
 阿部則章学生課長の開式宣言で始まり岡村吉隆学長式辞、吉田宗人附属病院長訓示に続き教職員並びに来賓として出席した宇野英明同窓会長が紹介され、岡村吉隆学長、吉田宗人病院長、赤阪隆史副学長、羽野卓三学生部長、西尾真知子教授、岡本恭子看護部長、古田眞智准教授、宇野英明同窓会長らが壇上にて認定書並びに白衣が授与され学生代表による決意表明が行われた。



式辞：岡村 吉隆学長



訓示：吉田 宗人病院長



宇野英明同窓会長も来賓として参加し、認定書並びに白衣を授与した。



壇上にて先生方から認定書・白衣授与



決意表明